

はまだ議会だより mini

徳島県（小松島市、那賀町）の議会を視察

今回は徳島県の二つの議会を訪問しました。両議会で実施されている議会による事業評価は大変参考になりました。各議員が点数を付けることで評価が明確になることに加えて、議決まで行うことで議会の役割が最大限に発揮されています。当市議会における「各議員の意見が十分に伝わっていない」「議会の合議制が十分に機能していない」といった課題を再認識することになりました。議員間討議の充実に向け、改善に努めます。

また、那賀町議会では全議員が一般質問に資料を用いており、同じものがケーブルテレビ中継でも

流れます。視聴者の方々にも分かりやすく、新たな費用負担もないため、当市議会でもすぐに検討に入りたいと思います。一方、他自治体の議会を見ることで、我々の取組の中に自信を持てる部分も感じました。議会と市民、双方向のコミュニケーションを図る努力を今後も続けていきます。

（議会改革推進特別委員会）



島根県立大学生との意見交換会

浜田市議会は主権者教育の推進に向けた取組を進めており、その一環として島根県立大学生との意見交換会を、1月17日に浜田市まちなか交流プラザで行いました。

はまだ協働学舎ファンタスが総合進行をする中、学生と議員が5グループに分かれて意見交換会を実施しました。各グループのテーマは学生が考え、

「大学生としての生活基盤」「高齢者の社会参加」「医療基盤の整備」など地域の課題を中心としたテーマがありました。このたびの意見交換会は、大学がある街の「広聴」としてもたいへん有意義な時間であり、アンケートを分析し、若者の意見を今後の議会活動に生かしてまいります。

（議会広報広聴委員会）

議員のつぶやき

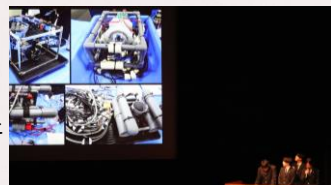
“文化のかおるまち”とは

新浜田市誕生時の「青い海・緑の大地 人が輝き文化のかおるまち」というキャッチフレーズには多くのメッセージが含まれています。漁師町、里山、教育、伝統芸能、ものづくり、食…良しあしを乗り越えさまざまな人の思いが結び付く中から生まれ、築き上げられていくものなのでしょう。（西田清久）



議長 1/31 浜田水産高等学校 日誌 課題研究発表会

浜田水産高校の課題研究発表会に出席しました。9事例の発表があり、「水中ロボとアンカーの操作」では全国マリンロボットコンテストで完走することができなかったとのことですが、今回の経験を生かし、来年度完走されることを期待しています。どれも生徒たちの豊かな発想力で立派な研究発表でした。



浜田市議会はSDGsを推進しています。